

平成 29 年度西東京市合同テロ対応訓練（国民保護訓練）の実施について （案）

9. 11 同時多発テロ以降、各国でテロ対策の強化を図っているところであるが、その脅威は依然として高い状況にある。

近年、海外では市民等を巻き込んだ自爆及び車両による群集への突入等、あらゆる手段を用いたテロ事件が発生していることから、2020 年開催の東京オリンピック、パラリンピックにおいても、競技会場並びにその周辺施設等集まる群衆を狙ったテロ事件も十分に予測され、国民保護に向け関係機関との連携強化を図っていく必要がある。

西東京市では、平成 19 年 4 月に市国民保護計画を策定するとともに、第 2 次総合計画においても、「危機管理体制の整備」は重要な施策と位置付けており、テロ等突発事案に素早く対応する体制の整備に向け「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」及び国民保護計画に基づき、関係機関と合同による実践的な対応訓練を実施する。

1 目的

関係機関が一体となった、実効性のある総合的かつ有機的な訓練を実施し、今後の危機管理対応、指揮命令系統、職員行動要領等の確認及び構築を図ることを目的とする。

2 実施日時

平成 30 年 2 月 19 日（月）午前 11 時から正午まで（予定）

3 訓練会場

田無自動車教習所自動車コース内（西東京市芝久保町四丁目 4 番 4 号）

4 訓練の想定

市内で発生したバスジャック事案に対し、車両から逃走した犯人の搜索検挙及び犯行に使用された不審物への対応等を行う。

- 逃走する犯人の情報共有及び市民への情報提供
- 犯人の搜索検挙
- 乗客乗員の避難誘導等
- 不審物の対応（立入禁止区域の設定、負傷者救護、不審物処理等）

5 訓練参加機関

- (1) 西東京市
- (2) 警視庁（田無警察署、機動隊等）
- (3) 東京消防庁（西東京消防署、機動部隊等）
- (4) 西武バス(株)